



情報化施工要領説明会を開催  
～新技術の普及・拡大に向けて～

関東地方整備局長野国道事務所並びに北陸地方整備局千曲川河川事務所、松本砂防事務所、大町ダム管理所では長野県内における情報化施工の普及・拡大を図るため、県内土木技術者を対象に下記のとおり「情報化施工要領説明会」を開催します。

1. 開催日時：平成24年10月 2日（火）14：00～16：00
2. 開催場所 株長水建設会館（（社）長野県建設業協会 長野支部）  
長野県長野市岡田町124
3. 内 容：（1）情報化施工技術の推進について  
（2）施工要領・監督検査要領の改訂について  
（3）TS出来形管理、MC・MG技術について

説明会は取材可能です。



マシンコントロール・ブルドーザ



※情報化施工については別添参照

【配布先】

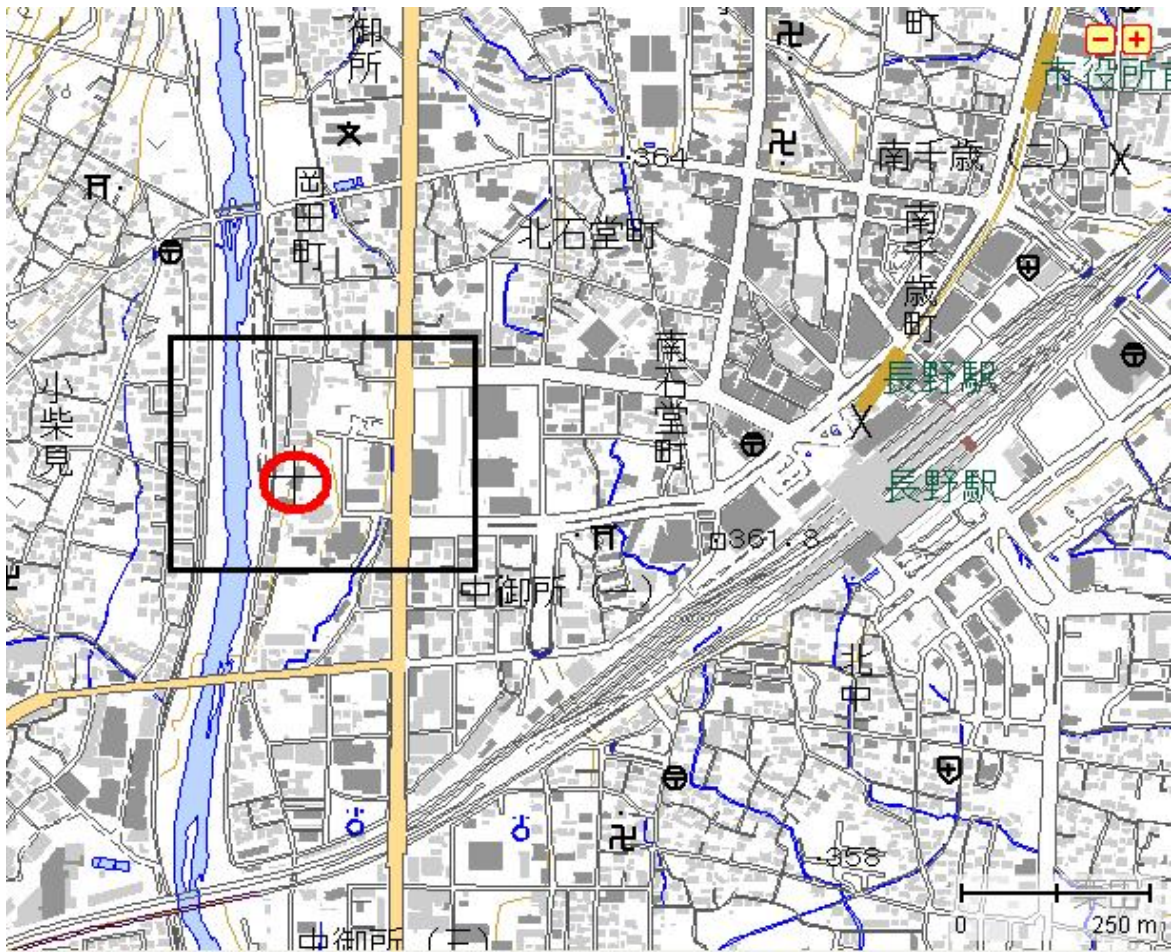
- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・新建新聞社
- ・長野経済新聞社
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【お問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所 026(227)7611  
副 所 長 大井 孝輝  
品質確保課長 中川 毅志



# ● 報告会会場へのアクセスマップ



< 拡大図 >



(株)長水建設会館((社)長野県建設業協会 長野支部) 長野市岡田町124 TEL.026-227-6226  
JR長野駅より徒歩10分 JR長野駅よりタクシー5分 バスターミナルより徒歩5分



# ●情報化施工のイメージ

現在、建設現場では汎地球測位航法衛星システム(GNSS)やトータルステーション(TS)などの高度な測位システムの導入が進み、測量や検査に使用されています。このような情報通信技術(ICT)と電子化された施工図などのデータを活用することによって、施工現場では測量などの計測作業の合理化、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上、丁張なしでの施工による施工効率の向上が期待できます。また、出来形管理においても施工中のデータを電子的に記録できることから、任意点での計測が容易となり、施工者の品質管理・帳票作成作業、発注者の監督・検査業務においても、効率化できることとなります。

## 従来

巻き尺による計測



手書き  
40m毎に  
計測データを野帳に記録



出来形管理資料作成  
記録をパソコンに手  
入力作成



作成帳票(手作業)  
・測定結果総括表  
・測定結果一覧表  
・出来形管理図表  
・出来形管理図  
・度数表

## 情報化施工

TSによる計測



計測データを自動記録



出来形管理資料作成  
パソコンで自動作成



作成帳票(自動作成)  
・測定結果総括表  
・測定結果一覧表  
・出来形管理図表  
・出来形管理図  
・度数表

## 従来



## 情報化施工



# 平成24年度 情報化施工要領説明会

日 時：平成24年10月2日（火）  
14:00～16:00

場 所：(株)長水建設会館

## 次 第

- 1 挨拶 千曲川河川事務所長 佐近 裕之
- 2 内容説明
  - (1) 情報化施工技術の推進について  
北陸地方整備局  
企画部 施工企画課長補佐 堀内 崇志
  - (2) 施工要領・監督検査要領の改訂について  
北陸地方整備局  
企画部 総括技術検査官 長谷川 修
  - (3) TS出来形管理、MC・MG技術について  
社団法人 日本建設機械化協会 施工技術総合研究所